

会場案内図



日本大学工学部工学研究所

〒963-8642
福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地
TEL.024-956-8648,8720 FAX.024-956-8878
<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/ResearchCenter/index.html>
[E-mail]kenkyu@ao.ce.nihon-u.ac.jp

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115
福島県郡山市南二丁目52番地(ビッグパレットふくしま3階)
TEL.024-947-4400 FAX.024-947-4475
<http://www.techno-media.net6.or.jp/> [E-mail]techno@nm.net6.or.jp



このパンフレットは、環境にやさしい
再生紙と大豆インキを使用しています。



再生可能エネルギー技術を基軸とする
ふくしま復興のシナリオ



日本大学工学部



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

開催日時

平成24年 11月15日(木) 13:00~16:00

会場

日本大学工学部50周年記念館(ハットNE)大講堂

〔主催〕日本大学工学部工学研究所／公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構／郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〔後援〕福島県／郡山市／郡山商工会議所／公益財団法人 福島県産業振興センター／郡山地域テクノポリス市町村協議会／郡山地域テクノポリス推進協議会／
一般社団法人 福島県発明協会／アカデミアコンソーシアムふくしま／日本貿易振興機構福島貿易情報センター／日本大学工学部校友会



第13回

産・学・官 連携フォーラム

H24.11.15[木]

再生可能エネルギー技術を基軸とするふくしま復興のシナリオ

主催者挨拶
13:00～13:15

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構理事長

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会会長

丹治 一郎

日本大学工学部長・日本大学大学院工学研究科長

出村 克宣

基調講演
13:15～14:00

一般講演
14:15～15:45

福島事業所の再生可能エネルギーへの取組み

日本工営株式会社 電力事業本部 福島事業所 システム事業部長

若林 建氏

革新的エネルギー・環境戦略と地域イノベーション戦略 ～エネルギー自立・自然共生型住環境の研究開発の方向性～

日本大学工学部 機械工学科 特任教授

小熊 正人

フクシマの復興に向けた『グリーン・イノベーション戦略』の視座と処方箋

福島ミドリ安全株式会社 代表取締役社長

白石 昇央氏

産・学・官の連携によるふくしまの自立した復興を目指して ～ロハスの工学の研究領域とロードマップ～

日本大学工学部 土木工学科 教授

岩城 一郎

>> 開催にあたって

福島県では、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地震・津波被害、福島第一原子力発電所の事故とこれに伴う風評被害により、宮城県や岩手県といった他の被災県よりも深刻かつ複雑な問題を多数抱えており、復興への道のりがさらに険しいものとなっています。

このような状況の中、福島県では復興計画の理念の一つとして「原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」を挙げており、2040年頃には県内のエネルギー需要の100%以上に相当する量のエネルギーを再生可能エネルギーで生み出せる県になることを目指しています。その実現のためには、“ふくしま”の産・学・官の連携により、再生可能エネルギー関連技術の開発を進めるとともに、その実用化を推進することが極めて重要と思われます。

こうした現状に鑑み、本年度で13回目を迎える産・学・官連携フォーラムでは「再生可能エネルギー技術を基軸とするふくしま復興のシナリオ」と題した講演会を開催することといたしました。はじめに、基調講演として地元企業から事例報告を、一般講演では、それぞれの立場から環境技術を産業戦略とした講演を行います。また、最後に日本大学工学部から、「ロハスの工学」の研究領域とロードマップについて紹介し、産学官の連携によるふくしま復興のシナリオについて議論します。

本フォーラムにより、“ふくしま”における産・学・官の連携がより強固なものとなり、郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターを利活用することで、ふくしまの復興に向けた技術推進の場を提供できればと考えております。